

Fuku Mimi かわらばん

2010年5月8日
発行者 SON東京 ファミリー委員会

今回は、
前原 前ファミリー委員長からの寄稿
プログラム紹介
特別講演会の開催について
です。

お父さん、お母さん、壁の花になっていませんか？【寄稿】前原 聡(SONT執行委員)

アスリートがプログラムをしている間、お父さん、お母さんは何をしていますか？
ボランティアもありますが、是非アスリートと一緒に体を動かしてみませんか？

卓球多摩プログラムでは1クールに一回、「お父さん、お母さんへの卓球教室」を開催しています。これは慢性的にコーチ不足に悩む同プログラムで、ファミリーコーチを養成するために始めた試みですが、スポーツをする楽しさをお父さん、お母さんも実感できるいい機会になっている様です。

参加したお母さんの感想文をいただきました。

「今回コーチの指導を受けて、私自身技術的にうまくなったかどうかわかりませんが、少しコツをつかめた様に思いました。それより初めて卓球の面白さ楽しさを実感しました。アスリートのみなさんに技術的なことはまだまだ伝えられませんが、私の感じた面白さ楽しさを伝えられたらいいな～と思いました。」

プログラム紹介・・・今回は卓球(十条会場)プログラムです

卓球(十条会場)は、2007年6月から活動を始めています。
現在、アスリート34名、主任コーチ1名、認定コーチ4名、ボランティアコーチ31名で、和気藹々と練習しています。

<練習内容>

前半 8台を使い、コーチとマンツーマンで、時間を区切りローテーションをしながら練習
後半 クラスごとに練習試合

* 4ヶ月に1回、十条会場で試合をして、日ごろの練習の成果を出し合います。

<アスリート紹介>

T君(20歳・卓球歴5年)・・・とても楽しいです。これからも続けたいです。
C君(17歳・卓球歴5年)・・・毎回楽しみにしています。休まずに前向きにがんばります。
Kさん(17歳・卓球歴7年)・・・楽しいです。試合に負けるととても悔しいです。
S君(15歳・卓球歴2年半)・・・楽しいです。試合で勝てるようになりたいので練習をがんばります。

<コーチより>



特別講演会「障害者の就労・社会参加について」の開催について

ファミリー委員会主催の講演会を7月に実施します。昨年大変好評だった「障害者の就労」のテーマとして、本年もスペシャルオリンピックス日本・東京の秦 理事をお招きし、ご講演いただきます。もちろん参加は無料ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：7月10日(土)18:00～ 1時間から1時間半で講演 + 質疑応答

場 所：東京YMCA東陽町センター視聴覚室(予定)

演 題：「働くこと・働き続けるために必要なこと」

参加者：SON東京に参加するアスリートのファミリーを主たる対象とし、その他参加希望者

講師略歴：秦 政(はたまこと) NPO法人障がい者就業・雇用支援センター理事長、SON東京理事
慶應義塾大学商学部卒。大学卒業後、日鉄商事株式会社を経て、株式会社リクルートに入社。営業経理部長、
障害者雇用特例子会社設立準備室長を経て、1990年特例子会社株式会社リクルートプラス専務取締役に就任。
独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構障害者雇用アドバイザーを経て、2004年よりARM顧問として、就業不能

FUKUMIMIは月次開催のファミリー委員会で取り上げられた議題の報告、委員会にてでた意見、委員からでてきた提案等をわかりやすく読める「かわらばん」です。
ご意見やニュースを募集しております。ぜひ投稿をお願いします。
阿部 泰之

【編集後記】

本日(5月8日)も、午前中陸上(多摩)プログラムに参加しました。
前回のプログラムは肌寒かったのに、今日は……………暑い！
熱中症はこの時期にも発生します、皆さん、体調管理と水分補給をお忘れなく。

